

平成29年度第1回たかまつ移住応援隊ミーティングの結果について

平成29年度第1回たかまつ移住応援隊ミーティングを開催した結果は、次のとおりでした。

日時 : 平成29年7月1日(土) 午前10時～正午
会場 : たかまつミライエ 1階 多目的室
参加 : 移住リーダー2名、移住サポーター25名
内容 : 移住リーダーからの挨拶の後、「たかまつ移住応援隊の活動について」や「高松市の取組について」のテーマで、ワールドカフェの手法を取り入れながら、意見交換を行いました。



<ミーティングの場に出された主な意見等>

- 若い世代のニーズを捉えて、その層に届くようなPRが必要。
 - ・仕事に関する、起業、就職、就農等の情報が届いていない。
 - ・移住希望者と仕事とのマッチングが重要
 - ・高松の子育て環境での優位性をもっと発信していった方がよい。
- 「仕事があってこそその移住」と思っていたが、必ずしも、それだけではなく、子育て環境や家族の同意といった要素も大事ということがわかった。
- 移住に関するキーパーソンとなるような存在が大事だと思う。
 - ・移住を考えている人が、自身に当てはめられるような、具体的な移住・定住に至るまでのストーリーを示せると効果的。
 - ・移住者の増加や定着のためには、人と人とのつながりが大事になるので、移住応援隊のみんなでもPRしていければよい。
- 行政がすべきこと、市民や民間で取り組んだ方がスムーズにいくことを切り分けて、対等な立場で協働して取り組んでいくのがよい。
- 高松には、まち、海、島、山があり、ほどよい人と人とのつながりなど、多くの魅力があるが、それが点在しているままなのが残念。
 - ・「点」が、「線」や「面」となるように、それぞれの魅力を工夫してつないげていけると、大きな魅力となる。

